

寅さん歩 その22

東京2020 聖火リレー-18

茨城県・埼玉県・東京都



写真右上は東京2020オリンピックの聖火リレーのトーチを掲げる平野寅次郎こと平野武宏です。全国のウォーキング大会を映画「男はつらいよ」の寅さんのように歩き回ったので妻の友人から「平野寅次郎」と命名され、ペンネームとしています。右上の写真は都庁でのトーチ公開時に撮影しました。パラリンピックのトーチも色違いであります。

東京2020大会の聖火は2020年3月12日ギリシャのオリンピア市にて採火されました。新型コロナウイルス感染拡大を予防するためギリシャ国内での聖火リレーは中止されましたが、3月19日首都アテネで東京への引き渡し式が規模を縮小して行われ、3月20日宮城県の航空自衛隊松島基地に到着です。

「復興の火」として、東日本大震災被災3県（宮城、岩手、福島）で順次展示された後、2020年3月26日に福島県をスタートし、移動日を含む121日をかけて47都道府県を回り、7月24日の開会式会場の国立競技場に到着の予定になっています。2019年11月30日に完成した「新国立競技場」は2019年12月15日の竣工式を終え、「国立競技場」と呼ばれます。

寅次郎、八柳修之さん作成の「バーチャルウォークで沖縄から新国立競技場へ聖火を運ぶ（仮想コース）」を行い、通過した都道府県の寅次郎のウォークの思い出と映画「男はつらいよ」で寅さんの恋の記録をお話しました。

映画「男はつらいよ」は第1作の公開[1969年(昭和44年)8月27日]から50周年となり、記念して2019年(令和元年)12月27日に第50作「男はつらいよ お帰り寅さん」が公開されました。寅さん役の渥美清さんは1996年(平成8年)に亡くなっていますが、今までの作品の寅さんが技術を駆使して登場します。

「寅さん歩」も映画の50周年を祝って一足早く全国の聖火リレーのコースを紹介しながら、前回のバーチャルウォークで通過しなかった道県での寅次郎のウォークの思い出と寅さんの恋をお話したいと思います。今回はその最終回です。各県名の脇の月日は実際に聖火リレーが行われる月日で、コースはスタートとゴールの予定地です。なお、2019年12月17日聖火リレーの詳細が発表されました。

〔茨城県〕 2020年7月5日～6日

聖火リレーコースは7月5日 鹿嶋市～水戸市、6日 古河市～つくば市、です。

寅次郎、2002年4月開催の「第3回古河まぐらがの里 花桃ウォーク」で古河市に来ています。第一日目はF W Aの例会で二日目のみ新幹線の日帰り参加です。古河は万葉集で「麻久良（まぐらが）の許我（こが）の渡り・・・」と詠われ、奥州街道、日光街道の宿場町、明治時代からは製糸業で栄えた歴史と伝統が息づく町です。渡良瀬川の遊水地をひと回りして自然を訪れるコースを歩きました。足尾銅山からの公害そして遊水地化により廃村になった旧谷中村が保存されており、多くの史跡もありました。ゴール近くの古河総合公園では桃林祭りの最終日のフラダンス大会で賑わっていました。

映画の寅さんは1984年12月公開の第34作「男はつらいよ 寅次郎真実一路」

で牛久沼に登場です。寅さん、上野でやけ酒を飲んで証券マンに支払いを助けられ、翌日、お礼に会社にバナナを持って行き、また一緒に飲んで牛久沼の証券マンの家へ泊まり、美人の奥さんふじ子（大原麗子）と会います。その後、仕事に追われた証券マンは失踪、寅さん、奥さんの力になろうと、一緒に証券マンの故郷鹿児島まで行きます。ふじ子の清楚な美しさに惹かれて行く寅さん、とらやの有り金を借りて捜すと言い出します。柴又にふじ子と息子を呼んで励ます寅さんですが、許されない人妻への思いに己の醜さを知り、旅に出ようとする。証券マンが柴又に現れ、寅さん、ふじ子の元へ連れて行きます。



寅さんの揺れ動く気持ちの演技力に感心するとともにその律儀さが切なく感じられる作品です。「寅さんとの旅が一生忘れられない」というふじ子の言葉が救いです。

第42作「男はつらいよ ぼくの伯父さん」の冒頭で水郡線 袋田駅で老人扱いした元気な老人に怒られ、喧嘩をする寅さんがいました。内容は聖火リレー8佐賀県をご参照ください。

聖火は埼玉県へ引き継がれます。

[埼玉県] 2020年7月7日～9日

聖火リレーコースは7月7日 川口市～所沢市、8日 草加市～熊谷市、9日 川越市～さいたま市で東松山市も通過します。

埼玉県東松山は寅次郎のウォーキング全国大会参加のスタートの地です。神奈川県内を歩いていた寅次郎に、先輩ウォーカーから全国に大会があってその最大の大会は東松山で開催の日本スリーデーマーチだと教わり、1998年(寅次郎56歳)の第21回大会に連れて行ってもらいました。初めてなので20kmコースを歩こうとしましたが、先輩の女性ウォーカーから「男なら30kmよ!」と言われ、挑戦したのを思い出します。この大会は日本開催の国際大会に認定されていて世界各地からウォーカーが集まります。

2000年11月の「第23回日本スリーデーマーチ」はウォーキング発祥の地のオランダとの「日蘭交流400年」の記念大会で、オランダから300名を超えるウォーカーが来ました。当初からの大会テーマは「楽しみながら歩けば風の色がみえてくる(天声人語)」です。かつての坂東武者が駆け巡った彩の国・埼玉の武蔵野・比企丘陵を舞台に国境を越えた多くのウォーカーが集まる友好と親善の国際ウォーキング大会です。

1日目は和紙の里・武蔵嵐山30kmコースで秋の比企丘陵を楽しみながら歩きました。和紙の里、埼玉伝統工芸会館、鎌倉時代の名将 畠山重忠の居城 菅谷城址、歴史資料館で太平絵巻展を見て、コース途中にある丸木美術館(原爆の絵があり)に立ち寄りしました。夜は宿泊施設の無料カラオケで千葉、東京、宮城のご夫妻と盛り上がり、同宿のオランダ人も加わり、国際友好を深めました。

2日目は吉見百穴・森林公園30kmコースで吉見百穴、八丁湖から高台に上り、見晴らしを楽しみ、東平梨組合の梨の食べ放題のサービスで満腹、森林公園の菊花展を見てゴールです。ゴール後はF W A仲間の友人がやっている焼き鳥で盛り上がりました。東松山の焼き鳥は焼きとん(豚のかしらを使用)ですが日本三大焼き鳥とのこと。東松山駅周辺は焼き鳥屋さんだらけです。

3日目は都幾川・千年谷公園ルート30kmコースで岩殿観音、物見山公園に上り、平和資料館からのパノラマ眺望は雄大です。東京電機大学の学園祭の脇を通り千年谷公園のトン汁サービスの後、ゴールです。



3日間の延べ参加者は主催者発表 約8万3千人で想像を超えた盛り上がり
のウォーキングの国際祭典でした。外国からのウォーカーはそれぞれのお国の
衣装で歩いていました。

会場の東松山小学校の校庭一杯にお店のテントが並び、大型スクリーンの前
に親睦用のスペースが準備されていました。東松山市の全面的な協力で市立
の小・中学生が多く参加、50kmに挑戦の高校生もいました。幼稚園や保育園
の豆参加者には驚きました。次世代のウォーキングを担う力強い若者達です。
子供連れのご夫妻「この子は0歳からベビーカーで参加」と言っていました。
特に心を打たれた姿は自分のためではなく身体障害の人と歩くボランティア
の高校生達やごみを拾いながら歩くクリーンボランティアの人達でした。

歩き始めた寅次郎にとってはまだ自分が歩くことに精一杯でしたので・・・
でもこれはFWAの「ゆっくりウォーク」や「グリーンウォーク」の発想の
ヒントになりました。また外国人のウォークの楽しみ方も大いに参考になりま
した。とにかく地元を挙げての心温まる歓迎ぶりは「お客様をもてなす」とは
どういう事なのかを学びました。まだ「風の色は見えません」でしたが、身体
的にも精神的にもちょっぴり遅くなった自分が発見できた気分で今後のウォ
ーキング人生に影響を与える多くの気づきがあった大会でした。

この貴重な体験談「参加して良かったこと・大会の特ダネ情報などを書き、
「楽しみながらのマイペースウォークを一度体験されたい」FWA会報に投稿
しました。寅次郎がウォーキング大会の紀行文を書くきっかけになった大会で
す。外国人ウォーカーと歩きながら英会話での出会い・ふれあいもありますが、
全国からのウォーカーとはこの後も地方大会で再会し、長いお付き合いが続い
ています。寅次郎、初参加の大会でおじさんにつきまとわれて困っていた娘さん
をアテンドしたご縁でご両親を含めたお付き合いが出来ました。何年後かの大会
でご両親から「娘は結婚しました」と報告を受けました。

この大会は1998年大会～2002年大会と5回連続して個人参加、2004年大会と
2005年大会はKWA(神奈川県ウォーキング協会)からの派遣スタッフとして体
育館に泊まり込んで大会運営のお手伝いをしました。2019年大会は台風19号の
被害で中止になりました。

また、2002年の「第10回川口・見沼ツーデーマーチ」で川口市を歩きました。

映画の寅さん、埼玉県には足を踏み入れていません。柴又から近すぎたせいか
もしれませんが、東松山に現れてスリーデーマーチを見たらなんと言ったで
しょうか？ お祭りだから商売を始めたかもしれませんね。

聖火は最後のコース 東京都へ引き継がれます。

[東京都] 2020年7月10日～24日

聖火リレーコースは世田谷区～新宿区です。

詳しくはFWAホームページ「YR・四季の道」の「バーチャルで2020東京オリンピック聖火リレーコース 東京都を歩こう」をご参照ください。

また、寅さん歩「バーチャルウォークで聖火を新国立競技場へー18もご参照ください。写真下は国技館で食べた忘れられない東京の味です。国技館やきとり（650円）で東京での大相撲開催中には両国国技館内で買えます。また東京駅の駅弁屋でも販売しています。



聖火は7月24日の開会式で国立競技場へ運ばれます。

2019年12月スタートした全国聖火リレーコース紹介の伴歩ありがとうございました。

写真下は映画「男はつらいよ」50周年記念「みんなの寅さん展」
（2019年8月 日本橋三越本店で開催）での寅さんと寅次郎の
ツーショットです。



平野 寅次郎 拝